

## (専門分野)

授業科目	精神看護学演習	講師	教員	実務経験	単位数
				○	1
学習目標	1.精神に障害のある対象の看護過程が展開できる。 2.対象との関わりについて振り返り方法を理解する。 3.レクリエーション等の企画、実施について考えられる。 4.精神看護に特有な援助技術を理解する。				時間数
					30
					学年
					2
					時期
回数	主 題	学 習 内 容		授業方法	講師
1~7	精神に障害のある対象（統合失調症）の看護過程展開	1.アセスメント オレム-アンダーウッドモデル ゴードンの機能的健康パターン 2.看護診断の明確化 3.看護計画・援助計画の立案 4.看護計画の実施と評価		講義 演習	教員
8~10	看護援助技法演習	1.プロセスレコード 1)プロセスレコードの書き方 2)プロセスレコードによる振り返りの実際		講義 演習	外部講師
11		2.レクリエーション・行事等の企画		講義	外部講師
12~13		3.SST(生活機能訓練) 1)アサーティブ・トレーニング 2)SST の実際		演習	外部講師
14~15		4.地域で生活する精神障害のある対象への援助 1)地域生活における課題のアセスメント 2)地域生活における支援 (1)他職種との連携 (2)利用可能な社会資源・サービス		講義	外部講師
評価方法		レポート評価 100点	テキスト	系統看護学講座 精神看護学[1] 精神看護の基礎 精神看護学[2] 精神看護の展開	